

都市整備部

新年度予算における基本的な方針

人口減少社会において都市を維持・管理していくために、既存ストックを有効活用し、交通ネットワークと連携した「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」による持続可能なまちづくりを進めていく必要がある。

中心市街地においては、都市機能の高度化、集約化を図るため、近鉄四日市駅周辺等整備事業に取り組み、土地の高度利用や再開発の誘導を図る。

また、既成住宅地等における公共空間の再編や空き家・空き地の利用促進に取り組み、地域特性に応じた住環境の向上を図る。

交通ネットワークに関しては、四日市あすなろう鉄道の安全運行に努めるとともに、自動運転の導入やバスネットワークにおける乗り継ぎ拠点の整備に向けた調査等を進める。

広域幹線道路ネットワークを生かした交通利便性の向上を図るとともに、安心安全なまちづくりの実現に向け、橋梁長寿命化修繕計画等に基づく橋梁や道路ストックの予防保全的な維持管理や準用河川の改修等による治水安全度の向上に取り組む。

1. 均衡のとれた土地利用について

四日市市都市計画マスタープランに基づき、都市機能と自然環境が調和した、適正な土地利用を誘導する。

新総合計画に掲げる、持続可能なコンパクトなまちづくりを進めるため、都市計画マスタープラン全体構想や緑の基本計画を検証するとともに、必要な都市計画の見直しを行う。

また、市民主体のまちづくり活動を促進するため、地区まちづくり構想等の策定を支援するとともに、提案された構想を基に都市計画マスタープラン地域・地区別構想の策定を進める。

【主な事業】	都市計画マスタープラン策定事業費	9,000千円
	都市計画策定費	11,981千円
	まちづくり活動支援事業費	10,810千円

2. 持続可能な交通体系の構築について

四日市市都市総合交通戦略や四日市市地域公共交通網形成計画に基づき、市民や公共交通事業者等と協働し、持続可能な交通体系の構築に向けた施策を推進する。

中心市街地の活性化や交通機能の向上を図るため、近鉄四日市駅・JR四日市駅の駅前広場や中央通り等の整備に係る基本計画や詳細設計を進める。

四日市あすなろう鉄道の安全運行に必要な施設更新とともに、ICカードシステム導入に着手する。

また、自動運転導入に向けた取り組みや、公共交通不便地域における交通手段の確保に向けて、NPOバス、自主運行バスの運行を維持するとともに、バスネットワークの再編に取り組む。

さらに、鉄道施設の耐震対策や乗降客が3千人/日を超える鉄道駅におけるバリアフリー化等を進める。

また、広域幹線道路の整備状況や市内の渋滞状況等を踏まえ、整備効果を検討し、市の整備方針を定める。

【主な事業】	近鉄四日市駅周辺等整備事業費	176,916千円
	四日市あすなろう鉄道運行事業費	421,600千円
	四日市あすなろう鉄道利用促進事業費	5,000千円
	コミュニティ交通支援事業費	5,226千円
	自主運行バス運行等事業費	40,000千円
	自動運転導入検討事業費	7,000千円
	鉄道駅バリアフリー化事業費	39,666千円
	鉄道施設耐震対策事業費	28,333千円
	地方鉄道維持・活性化事業費	16,250千円
	総合交通戦略推進事業費	45,550千円
	＜道路整備効果検討業務 他＞	
	公共交通ネットワーク維持・再編事業費	14,100千円

3. 建築基準法、都市計画法等に基づく業務について

建築基準法等に基づき確認申請の審査及び検査等を適正に実施するとともに、旧耐震基準建築物の耐震化や、空き家等老朽危険家屋の除却や適正管理を促すなど、安心安全なまちづくりの推進を図る。

また、都市計画法等に基づき、開発許可申請及び建築許可申請等において適正な許可処分を行い、良好な住環境を確保する。

【主な事業】	建築指導関係事務費	19,116千円
	ブロック塀等安全対策事業費	18,000千円
	開発審査関係事務費	3,430千円

4. 道路整備について

(1) 幹線道路の整備

市民が円滑に移動できるよう国・県道とともに道路ネットワークを形成する幹線道路の整備を進める。さらに、市内の渋滞緩和に向け、交通のネック点となっている松本街道（赤堀小生線）と西浦通りとの交差点及び西阿倉川62号線と西阿倉川万古線の変則交差点の改良を進める。

【主な事業】

社会資本整備総合交付金事業費（道路）	293,000千円
＜小杉新町2号線、泊小古曾線＞	
産業支援・生活拠点道路整備事業費〔交差点改良〕	556,800千円
＜西阿倉川62号線、赤堀小生線＞	

(2) 橋梁の整備

橋梁の長寿命化に向けた修繕を行うとともに、大規模地震に対する備えとして、耐震対策を進める。

【主な事業】

防災・安全社会資本整備交付金事業費（橋梁長寿命化関係）	231,000千円
＜慈善橋、三郎橋跨線橋 他＞	
地方道更新防災等対策補助事業費（大規模修繕・橋梁）	104,000千円
＜生桑橋＞	

(3) 安心・安全な歩行空間づくり

歩行者の視点に立った道路の改良や自転車レーンの整備、防護柵・カーブミラーなどの交通安全施設の整備・維持を通して地域や通学路の安全確保に取り組む。

また、交通安全教育指導員（とみまつ隊）による保育・幼稚園児、小中学生や高齢者等への交通安全教育を行うとともに、高齢運転者を対象に後付け踏み間違い加速抑制装置の設置を促進する。

【主な事業】

防災・安全社会資本整備交付金事業費（交安）	273,000千円
＜内部駅前広場、曾井尾平線、富田21号線 他＞	
防災・安全社会資本整備交付金事業費（通学路交通安全対策）	170,000千円
＜霞ヶ浦垂坂線（横断歩道橋）、常磐赤堀3号線、平津14号線＞	
歩行者自転車空間整備事業費	59,000千円
＜小古曾1号線、中浜田南浜田線、午起末永線、堀木日永線＞	
交通安全施設整備単独事業費	340,730千円
＜笹川環状1号線（横断歩道橋）、羽津10号線 他＞	
交通安全教育事業費	4,226千円
高齢運転者安全対策事業補助金	20,200千円

(4) 生活に身近な道路整備

地区土木要望箇所から実施箇所を選定するために各地区に結成された「自主選定組織」と連携し、地域ニーズの高い生活道路の整備を進める。

【主な事業】 生活に身近な道路整備事業費	723,000千円
----------------------	-----------

(5) 狭あい道路対策

良好な市街地形成、生活環境の改善を図るため、狭あい道路に面している建物の建替え等に合わせて道路後退用地の整備を行う。

【主な事業】 狭あい道路対策費	151,870千円
-----------------	-----------

(6) 道路の維持・保全

道路が安全・円滑・快適に通行できるよう適切な維持補修を図るとともに、主要道路の舗装や歩道橋などの道路施設について、計画的な保全を進める。

【主な事業】

道路維持修繕費	729,000千円
防災・安全社会資本整備交付金事業費（道路ストック関連）	145,000千円
＜ときわ西日野線、御薮塩浜本町線、山田10号線ほか1線＞	
産業支援・生活拠点道路整備事業費〔再舗装〕	295,000千円
＜笹川環状1号線、三重橋垂坂線、川島62号線 他＞	

5. 土地区画整理事業について

(1) 末永・本郷地区（公共施行）

令和3年度の事業の完了に向けて、引き続き清算金の徴収を行う。

【主な事業】 末永・本郷土地区画整理事業 14,431千円

(2) 午起地区（組合施行）

午起土地区画整理組合が施行する事業に係る経費を補助する。

【主な事業】 午起土地区画整理事業 49,100千円

6. 公園・緑化事業について

(1) 公園・緑地の維持管理

公園・緑地・街路樹の適切な管理に努めるとともに、遊具の補修や公園灯のLED化により施設の安全確保・環境改善を図る。

また、市民ボランティア団体が行う公園・緑地等の美化活動に対する支援を行うとともに、市民緑地制度による里山保全に取り組む。

【主な事業】

公園施設管理費	543,080千円
公園施設維持補修費	124,979千円
市民に親しまれる公園ボランティア支援事業費	4,000千円
花と緑いっぱい事業費	9,807千円
里山保全事業費	8,115千円

(2) 公園・緑地の整備

垂坂公園・羽津山緑地の整備を引き続き進める。また、複数の小規模公園を廃止・統合して新設公園を整備するため、坂部が丘賃貸住宅跡地において測量設計を行う。中央緑地においては、公募設置管理制度により整備された公園施設の整備費用を負担する。

【主な事業】

垂坂公園・羽津山緑地整備事業費	79,400千円
都市公園再編事業費	26,000千円
都市公園賑わい創出事業費	70,000千円

7. 河川事業について

治水安全度の向上を図るため、準用河川朝明新川、源の堀川などの改修や、三重県が行う三滝川、海蔵川の整備に必要な準用河川堀川の内水対策を実施するとともに、河川・調整池・水路の適切な維持管理を行う。

【主な事業】	準用河川改修事業費	205,000千円
	＜朝明新川、源の堀川＞	
	普通河川三鈴川河川改良事業費	20,000千円
	堀川内水対策事業費	11,000千円
	河川等計画保全事業費	40,000千円

8. 道路等の管理業務について

市民生活に直結した道路等行政財産（法定外公共物（里道、水路）を含む）の適正な管理に努める。また、地籍調査を進めるとともに街区基準点の点検・調査を行う。

【主な事業】	道路等の財産管理事業	175,621千円
	＜近鉄高架下土地管理費、放置自転車対策事業費 他＞	
	境界査定業務費	15,708千円
	地籍調査事業費	4,842千円

9. 公共建築物等の整備について

維持経費を含む総費用の縮減、ユニバーサルデザイン、環境負荷の低減、施設の長寿命化の実現などに配慮した公共建築物等の整備を進める。

【主な事業】	営繕事務費	13,175千円
--------	-------	----------

10. 市営住宅の整備事業等について

外壁の改修及び屋上防水工事などの適切な維持管理により、既存施設の長寿命化を図る。また、高齢者・障害者向け住戸の確保に努めるとともに、高齢者の見守りの拠点として空き住戸の利活用を進める。

さらに、住宅使用料の滞納整理や老朽市営住宅入居者の移転促進など、適切な入居者管理を行う。

【主な事業】	市営住宅整備事業費	299,055千円
	＜市営住宅外壁改修等長寿命化事業 他＞	
	高齢者・障害者向け住宅改良事業費	26,038千円
	住宅管理一般経費	35,599千円
	＜高齢者の安心な暮らしを支える活動づくり事業、 石塚町・小鹿が丘市営住宅入居者移転促進事業 他＞	

11. 住宅施策推進事業について

四日市市住生活基本計画に基づき、空き家の実態調査や子育て世帯等の住み替え支援に取り組むとともに、公共空間の再編による郊外住宅団地の再生に着手する。

【主な事業】	住宅施策推進事業費	25,568千円
	＜空き家の実態調査業務、公共空間再編検討業務 他＞	
	狭小宅地改善支援事業費	900千円

近鉄四日市駅周辺等整備事業
(近鉄四日市駅・JR 四日市駅)

1. 目的

中心市街地の活性化や交通機能の向上を図るため、近鉄四日市駅・JR 四日市駅周辺において、中央通り等も含めた駅前広場等の整備を行う。

2. 内容

- ①基本計画検討業務委託
- ②近鉄四日市駅周辺等整備設計業務委託
(中央通り道路詳細設計)

【スケジュール】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業概要	近鉄四日市駅	基本計画 道路詳細設計	広場詳細設計 デッキ予備設計 道路工事	デッキ詳細設計 道路工事
	J R 四日市駅	基本計画	広場詳細設計	広場工事

3. 予算額 165,000千円 (財源内訳) 国庫支出金(1/2) 69,300千円
(前年度 45,000千円) 市 債 62,300千円
一般財源 33,400千円

担当	①都市整備部 都市計画課 戸本、伊藤	TEL 354-8272
	②都市整備部 市街地整備・公園課 木村	TEL 354-8200

公共交通ネットワーク維持・再編事業

1. 目的

持続可能な公共交通ネットワークを構築し、生活交通を確保する。

2. 内容

① 乗り継ぎ拠点調査検討

バス路線における基幹部分と支線部分などの接続点となるような郊外部の候補地において、乗り継ぎ拠点整備に向けた調査検討などを行う。

② 【新規】新たな輸送形態に係る事業者との共同実験

バス事業者より廃線の申し入れがある長沢線をモデルに小型車両による実験を行う。

③ デマンドタクシー検討

デマンドタクシーについて、過去3か年の社会実験の結果を取りまとめ、今後の対応案を検討する。

3. 予算額

14,100千円 (財源内訳) 一般財源 14,100千円
(前年度 3,900千円)

担当：都市整備部 都市計画課
公共交通推進室 水谷
TEL 354-8095

社会資本整備総合交付金事業費（道路）

1. 目的

商工業などの経済活動の活性化や交通機能の強化を図るため、国、県道の広域道路ネットワークと連携した市内の道路整備を行う。

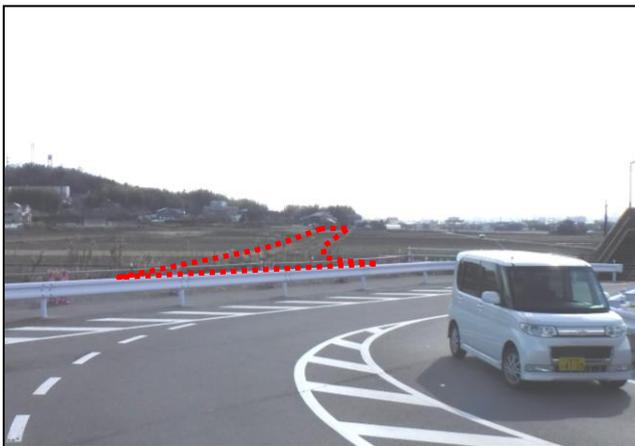
2. 内容

市民が円滑に移動できるよう市内の東西及び南北道路の強化を目的に、小杉新町2号線、泊小古曾線の整備を進める。

- | | | |
|----------|------------|-----------|
| ・小杉新町2号線 | 道路改良工 | L = 140 m |
| ・泊小古曾線 | 道路改良工 | L = 150 m |
| | 用地買収、工作物補償 | 1式 |

3. 予算額	293,000千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2)	146,500千円
	(前年度 235,000千円)		市債	131,800千円
			一般財源	14,700千円

小杉新町2号線



泊小古曾線



担当	都市整備部	道路整備課
	加藤	
TEL	354-8212	

産業支援・生活拠点道路整備事業費

1. 目的

市内の幹線道路となる産業支援道路や、住宅団地内を結ぶ生活拠点道路のうち、舗装劣化が進んでいる路線の計画的な再舗装や、著しい渋滞が発生している交通ネック箇所の改良を進め、安全で快適な道路の機能維持を図る。

※産業支援道路：臨海部工業地帯や内陸部工業地帯と連絡する国道、県道を補完する役割を果たす幹線道路

※生活拠点道路：市民活動を支える住宅団地などの居住地を結ぶ幹線道路

2. 内容

舗装の劣化が進んでいる三重橋垂坂線ほか4線の再舗装工事を実施するとともに、近年著しい渋滞が発生している西阿倉川62号線及び赤堀小生線の交差点改良に係る用地買収、補償及び橋梁下部工等を実施する。

【再舗装】

・ 三重橋垂坂線	再舗装工	L = 1, 300 m
・ 笹川環状1号線	再舗装工	L = 420 m
・ 川島62号線	再舗装工	L = 400 m
・ 子西八王子線	再舗装工	L = 650 m
・ 神前桜線	再舗装工	L = 600 m

【渋滞対策】

・ 西阿倉川62号線	用地買収、物件移転補償、橋梁下部工	1式
・ 赤堀小生線	用地買収、建物補償、工作物補償	1式

3. 予算額 851,800千円 (財源内訳) 一般財源 851,800千円
(前年度 649,620千円)

三重橋垂坂線



赤堀小生線(松本街道)



担当 都市整備部 道路整備課
橋本
TEL 354-8213

防災・安全社会資本整備交付金事業費（道路ストック関連）

1. 目的

道路施設修繕計画に基づき、舗装が劣化している路線の再舗装を実施する。

2. 内容

・ときわ西日野線	再舗装工	L =	410 m
・御菌塩浜本町線	再舗装工	L =	370 m
・山田10号線ほか1線	再舗装工	L =	1,550 m

3. 予算額	145,000千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2)	72,500千円
(前年度	293,000千円)		一般財源	72,500千円

ときわ西日野線



御菌塩浜本町線



担当 都市整備部 道路整備課
橋本
TEL 354-8213

防災・安全社会資本整備交付金事業費（橋梁長寿命化関係）

1. 目的

橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕を行うとともに、発生が危惧される南海トラフ巨大地震等に備えるための耐震対策を進める。

2. 内容

慈善橋、三郎橋跨線橋の長寿命化修繕及び耐震対策と、前川4号橋ほか市内の11橋の長寿命化修繕を行う。また、歩道橋の長寿命化修繕、橋梁の定期点検を実施する。

	＜ 長寿命化修繕 ＞	＜ 耐震対策 ＞
・ 慈善橋	橋梁補修	橋脚補強、落橋防止
・ 三郎橋跨線橋	伸縮装置取替	落橋防止
・ 前川4号橋ほか11橋	橋梁補修、補修設計	
・ 三重歩道橋	橋面舗装	
・ 橋梁定期点検	230橋	

3. 予算額	231,000千円	(財源内訳)	国庫支出金(5.5/10)	127,050千円
	(前年度 245,000千円)		市 債	68,400千円
			一般財源	35,550千円

慈善橋



三郎橋跨線橋



担当	都市整備部	道路整備課
	橋本	
	TEL 354-8213	

防災・安全社会資本整備交付金事業費（交安）

1. 目的

歩行者の安全な通行や、市民の円滑な移動を支える道路空間を整備する。

2. 内容

内部駅の駅前広場整備を行い、曾井尾平線、富田21号線、富田富田一色線の整備を進める。

・ 内部駅前広場（采女51号線）	駅前広場整備	1式
・ 曾井尾平線	路肩整備工	L = 260m
・ 富田21号線	歩道整備工	L = 40m
・ 富田富田一色線	用地買収、建物補償	1式

3. 予算額 273,000千円	（財源内訳）	国庫支出金(1/2)	136,500千円
（前年度 307,000千円）		市債	122,800千円
		一般財源	13,700千円

内部駅前



曾井尾平線



担当 都市整備部 道路整備課
加藤
TEL 354-8212

笹川環状1号線横断歩道橋設置事業費

1. 目的

笹川環状1号線と笹川50号線との交差点は信号機のない横断歩道となっており、笹川環状1号線を跨ぐ横断歩道橋を設置することで、歩行者の安全対策を進める。

2. 内容

当該交差点がある笹川環状1号線は、平成31年4月に笹川東小学校と笹川西小学校が笹川小学校に統廃合されたことに伴い、地域より早期の安全対策が求められていることから、下部工と上部工を合わせた一括発注を行い、工期の短縮を図ることで、早期の供用を行うため、令和3年度までの債務負担行為を計上する。

- ・ 笹川環状1号線（横断歩道橋） 下部工、上部工 1式

<笹川環状1号線>



- 3. 予算額 56,000千円 (財源内訳) 一般財源 56,000千円

4. 債務負担行為

- ・ 笹川環状1号線横断歩道橋設置事業費

限度額 84,000千円 (総事業費) 140,000千円

期 間 令和2年度から令和3年度まで

担当 都市整備部 道路整備課

加藤

TEL 354-8212

(新) 高齢運転者安全対策事業補助金

1. 目的

交通安全を確保する観点から高齢運転者が所有している車両へのサポート機能の導入を促進する。

2. 内容

交通事故全体数は減少傾向にあるものの、高齢運転者による事故の割合は改善がない状況であり、社会の大きな問題となっている。

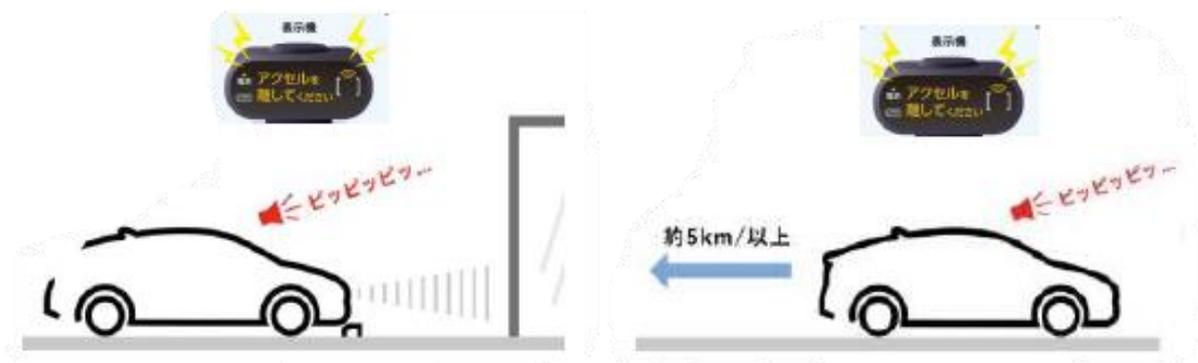
特に踏み間違いの事故については、発生すると深刻な事態となることが多く、その対策が求められている。

このため、高齢運転者が所有する車両への後付け急発進等抑制装置の早期の導入を促進するために、令和2年度内に同装置を導入する高齢者への補助を実施する。

3. 予算額

20,200千円	(財源内訳) 県支出金 (1/2)	10,100千円
	一般財源	10,100千円

例) 障害物検知機能付き装置



国土交通省報道発表資料より

担当 都市整備部 道路管理課
太田
TEL 354-8154

(新) 都市公園賑わい創出事業費

1. 目的

公募設置管理制度（Park-PFI）を用い、飲食店等の誘致を行い公園としての魅力向上、利用者の利便性の向上を図る。

2. 内容

三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて整備が進む中央緑地において、公募設置管理制度（Park-PFI）を活用し、飲食店等の立地を図るに際し、併せて整備する特定公園施設の建設に要する費用の一部を市が負担する。

・特定公園施設の整備内容

トイレ、テーブル、ベンチ、東屋等の設置、樹木伐採・伐根、広場整備

3. 予算額	70,000千円	(財源内訳)	国庫支出金 (1/2)	35,000千円
			市債	31,500千円
			一般財源	3,500千円



担当 都市整備部 市街地整備・公園課
藤田
Tel 354-8197

(新) 河川等計画保全事業費

1. 目的

河川及び調整池について、計画的な保全を実施することにより、治水安全度を確保する。

2. 内容

近年、線状降水帯の発生などによる中小河川の氾濫が続いており、治水安全度を確保するため河川や調整池の計画的な保全が求められている。

このため、河床洗堀による護岸崩壊を未然に防止するため、河床低下の可能性がある河川について現況を把握する調査を行い、保全計画を策定し対策を進める。

また調整池においても、防災安全度の確保や周辺環境の改善の両面から三滝台及び浮橋において堆積砂の撤去を行うとともに、計画的な保全を行うため計画を策定する。

河川……河川保全計画策定(鹿化川ほか45河川)

河床保護設計(江田川)

調整池…調整池保全計画策定(77箇所)

堆積土砂撤去(三滝台調整池、浮橋土地区画整理調整池)

測量設計(青葉台調整池、けやき台調整池)

3. 予算額

40,000千円 (財源内訳) 一般財源 40,000千円



江田川



三滝台調整池

担当 都市整備部 河川排水課
市川、戸谷
TEL 354-8216

準用河川改修事業費

1. 目的

市民の生命、財産を守るため、準用河川の改修を行い、治水安全度の向上を図る。

2. 内容

朝明新川において、河川改修に支障となる企業庁工業用水管の移設補償を行うほか、源の堀川の築堤・護岸工を行う。

朝明新川	企業庁工業用水管移設補償	1式
源の堀川	築堤・護岸工	L=40m
	用地補償	1式

3. 予算額

205,000千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/3)	68,333千円
(前年度 147,000千円)		市 債	123,000千円
		一般財源	13,667千円



朝明新川



源の堀川

担当 都市整備部 河川排水課
市川
TEL 354-8216

(新) 高齢者の安心な暮らしを支える活動づくり事業

1. 目的

市営住宅の入居者の高齢化に伴い、自治会活動や地域の交流活動が停滞している。市営住宅の空きストックを活用して、各関係団体と連携して地域コミュニティの維持を図り、高齢者が安心して暮らせる環境づくりを進める。

2. 内容

(1) あさけが丘団地

市営住宅の高層階の空きストックを活用し、四日市大学の協力のもと、入居した学生が自治会に加入して見守り活動、自治会活動、災害時の共助活動などを行う。

(2) 坂部が丘団地

市営住宅の空きストックを活用し、四日市市社会福祉協議会の協力のもと、地域が主体となった地域の交流拠点づくりを行う。

3. 予算額 5,200千円 (財源内訳) その他特財 5,200千円
(公営住宅使用料)



学生が入居予定の市営住宅の外観



地域が主体となった「交流とたすけあいの拠点」のイメージ

担当：都市整備部 市営住宅課 金子
TEL 354-8218

スポーツ・国体推進部

新年度予算における基本的な方針

総合計画の基本的な政策「スポーツを通じた活気あるまちづくりの推進を図る」ため、「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」「子どもの体力・競技力の向上」「大規模スポーツイベント等の誘致」「スポーツイベントによる地域活性化」「安全で快適なスポーツ施設の整備」に係る事業を実施する。

スポーツ振興については、本市で初めてとなる四日市ハーフマラソンの開催により、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、市外からの参加者にも本市のまちの魅力を発信を行うことで、スポーツイベントによる地域活性化を図る。

また、オリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火フェスティバルの実施により、東京2020オリンピック・パラリンピック開催機運を盛り上げ、カナダ体操チームの事前キャンプの実施のほか、本大会では市民が一体となって、本市出身選手やカナダチームを応援するためのパブリックビューイングを実施し、その盛り上がり令和3年度に開催する三重とこわか国体・三重とこわか大会につなげる。三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けては、リハーサル大会の開催により、より具体的な準備を進めるとともに、開催機運を高めるスポーツ教室等様々なスポーツイベントを開催する。

スポーツ施設整備については、三重とこわか国体・三重とこわか大会の会場となる中央緑地及び霞ヶ浦緑地の施設について、引き続き整備を進める。また、市内の既存スポーツ施設については、建物や設備の老朽化等、多くの課題を抱えていることから、誰もが快適で安心・安全にスポーツが楽しめる施設の環境づくりを目指して整備を進める。

1. スポーツ振興について

スポーツの振興については、市民がスポーツに関心を持ち、スポーツに親しむ機会を設けるため、トップアスリートによるスポーツイベントやウォーキング大会等を実施するとともに、競技力の向上を図るため障害者スポーツを含めた指導者の育成に取り組む。また、市制施行123周年事業としてハーフマラソン及び全国巡回ラジオ体操を開催するほか、運動・スポーツ実施率の向上に向け、様々な世代を対象とした運動・スポーツの習慣化に繋がる取り組みを行う。さらに、本市で開催されるプロスポーツの試合や大規模スポーツ大会等に対する補助制度を創設し、「観る」スポーツとしてのスポーツ振興やスポーツを通じた元気なまちづくりを目指す。

【主な事業】

ハーフマラソン開催経費	46,200千円
ホームタウンチーム連携事業費	1,000千円
運動・スポーツの習慣化による健康増進事業費	1,645千円

幼少期から体を動かす習慣づくり事業費	2, 130千円
東京2020オリンピック・パラリンピック関係事業費	2, 300千円
スポーツ大会等開催費補助金	11, 000千円

2. スポーツ施設整備について

既存のスポーツ施設については、中央陸上競技場の芝・トラックの改修や中央第2体育館の外壁改修等を行うほか、四日市ドームの大型映像装置や照明等の更新工事を行い、利用者の安全・安心、快適性の向上に取り組む。

【主な事業】

中央緑地運動施設整備事業費（推進計画）	533, 600千円
中央緑地運動施設整備事業費（アセットマネジメント）	114, 800千円
四日市ドーム整備事業費（推進計画）	539, 000千円

3. スポーツ施設整備（国体関係）について

新たな運動施設の整備については、三重とこわか国体・三重とこわか大会に向け、中央緑地に四日市市総合体育館及びトリムコース、霞ヶ浦緑地に霞ヶ浦第3野球場の整備工事を進めるとともに、両緑地において駐車場整備工事を行う。

四日市市総合体育館及び霞ヶ浦第3野球場については、本年5月の供用開始を予定しており、これに先立ちオープニングイベントを開催するとともに、関連事業を実施する。

【主な事業】

中央緑地運動施設整備事業費（国体関係）	1, 471, 000千円
霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費（国体関係）	239, 000千円
運動施設関連整備事業費（国体関係）	153, 000千円
総合体育館等オープニングイベント開催事業費	15, 693千円

4. 三重とこわか国体・三重とこわか大会について

三重とこわか国体・三重とこわか大会の本市での開催に向けた準備を行う。軟式野球、カヌー・スプリント、テニス、自転車（トラック・レース）、サッカー、体操（トランポリン）の計6競技において、競技会運営能力の向上を図るとともに、市民の参加意識の向上及びおもてなしの心で迎える機運の醸成を図ることを目的として、リハーサル大会を開催する。

【主な事業】

三重とこわか国体・三重とこわか大会推進事業費	216, 557千円
------------------------	------------

5. 東京オリンピック事前キャンプ等について

本年7月の東京2020オリンピックを直前に控えたカナダ体操チームの事前キャンプを四日市市総合体育館で実施する。また、カナダ体操チームと市民との交流の場を設けるとともに、本大会ではパブリックビューイングを実施する。

【主な事業】

東京オリンピック事前キャンプ等実施事業費	30,921千円
----------------------	----------

(新) ハーフマラソン開催経費

1. 目的

市制施行123周年を機に、初めてのハーフマラソンを開催することにより、本市の都市魅力の発信、生涯スポーツ人口の拡大等につなげるとともに、地域活性化による経済効果の創出を図る。

また、市民がランナーとして参加するだけでなく、大会ボランティアやランナーへのおもてなしに携わっていただき、「スポーツを支える」ことにより、スポーツ参画人口の拡大を図る。

2. 内容

- 大会名称： 四日市ハーフマラソン
- 開催日： 令和3年3月7日(日)
- 種目： ハーフマラソン、ファミリー・小学生(2km)
- 募集人員： ハーフマラソン6,000人、2km1,000人 計7,000人

3. 予算額 46,200千円 (財源内訳) その他特財 46,200千円
(まちづくり事業基金繰入金)



担当 スポーツ・国体推進部
スポーツ課 原
TEL 354-8429

(新) スポーツ大会等開催費補助金

1. 目的

四日市市総合体育館や四日市テニスセンター等において、全国規模の大規模大会や国内トップレベルのリーグ戦等のスポーツイベントの開催を通じ、多くの市民がトップレベルのプレーを観る機会を創出するとともに、本市におけるスポーツ振興の発展、ジュニア世代等の競技力向上、スポーツ交流による地域活性化を図る。

2. 内容

下表に記載する大会等への開催事業費補助金を交付し、大会誘致を行う。

補助対象大会等	補助金額 (上限額)	補助率等	補助対象経費
国際大会、全国大会、 トップチームによるリーグ戦等のスポーツイベント	2,000千円	2/3	施設使用料 (備品含む)及び 会場設営費
ホームタウン包括連携協定締結団体の 大会等	1,000千円	2/3	
スポーツ合宿	500千円	1人1泊につき 1,000円	宿泊費

3. 予算額 11,000千円 (財源内訳) 一般財源 11,000千円

担当 スポーツ・国体推進部 スポーツ課 尾関・木村 TEL 354-8428
--

四日市ドーム整備事業費（推進計画）

1. 目的

四日市ドームにおいて、利用者の安全性及び利便性の向上を図るため、経年劣化により不具合が生じている設備等の更新または改修を行う。

2. 内容

- | | | |
|---|-----|-----------|
| (1) 防犯カメラ等更新工事 | 事業費 | 24,840千円 |
| ・防犯カメラやモニター画面が表示されないなどの不具合が発生しているため、改修を行う。 | | |
| (2) 防災設備更新工事 | 事業費 | 54,280千円 |
| ・火災等を把握するための防災設備表示盤及び諸室等の火災報知器等の劣化に伴う改修を行う。 | | |
| (3) 大型映像装置更新工事 | 事業費 | 219,640千円 |
| ・映像の乱れなどの事象が発生しているため、大型映像装置表示部及び映像システム機器更新を行う。 | | |
| (4) 遮光シール設置工事 | 事業費 | 46,120千円 |
| ・競技に支障がある太陽光の眩しさ対策として、アリーナ内東西面の窓ガラス全面に遮光シール設置を行う。 | | |
| (5) 照明（LED）改修工事 | 事業費 | 194,120千円 |
| ・劣化に伴う照度不足のため、更新を行う。 | | |

※休館期間：令和2年11月から令和3年2月まで

3. 予算額 539,000千円 （財源内訳）一般財源 539,000千円
 （前年度 4,000千円）

▼大型映像装置



担当 スポーツ・国体推進部
 スポーツ課 尾関
TEL 354-8428

三重とこわか国体・三重とこわか大会等開催事業

1. 目的

令和3年の三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた準備を行うとともに、リハーサル大会を開催する。

また、5月にオープンする四日市市総合体育館において、カナダ体操チームによる東京2020オリンピックの事前キャンプを実施し、市民のスポーツに対する関心を高め、三重とこわか国体・三重とこわか大会につなげる。

2. 内容

(1) 三重とこわか国体・三重とこわか大会推進事業費 216,557千円
三重とこわか国体・三重とこわか大会の本市での開催に向けた準備を行うとともに、軟式野球、カヌー・スプリント、テニス、自転車（トラック・レース）、サッカー、体操（トランポリン）の6競技について、競技会運営能力の向上を図り、市民の参加意識の向上及びおもてなしの心で迎える機運の醸成を図ることを目的として、リハーサル大会を開催する。

(2) 東京オリンピック事前キャンプ等実施事業費 30,921千円
東京2020オリンピックを直前に控えたカナダ体操チームの事前キャンプを四日市市総合体育館で実施する。また、カナダ体操チームと市民との交流の場を設けるとともに、パブリックビューイングを実施する。

3. 予算額

247,478千円（財源内訳）	県支出金（10/10・1/2）	79,083千円
（前年度 0千円）	一般財源	168,395千円

4. 債務負担行為

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会負担金

限度額 1,815千円（総事業費） 3,630千円

期間 令和2年度から令和3年度まで

担当 スポーツ・国体推進部
国体推進課 櫻井、山口
TEL 354-8367

(新) 総合体育館等オープニングイベント開催事業費

1. 目的

現在建設中の四日市市総合体育館および霞ヶ浦第3野球場は、完成後は市民に末永く利用される施設である。そこで、三重とこわか国体・三重とこわか大会四日市市開催競技を中心にオープニングイベントを実施し、当該施設へ多くの市民が来場し、施設利用のきっかけにつながるような機会を設けるとともに、市民総参加を目指す三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた機運醸成を図る。

2. 内容

<総合体育館>

- (1) 開館記念イベント 事業費 3,925千円
【実施予定日】令和2年4月29日(水)(※供用開始は5月1日)
【内容】①記念式典
②第48回四日市こどもまつり(例年は四日市ドームで開催)
- (2) バレーボールエキシビジョンマッチ 事業費 2,889千円
【実施予定日】令和2年5月頃
【内容】ヴィアティン三重 VS 東京ヴェルディ/高校生チーム
- (3) 体操オリンピックによる東京オリンピック報告演技会 事業費 8,379千円
【実施予定日】令和2年12月～令和3年1月頃
【内容】東京オリンピックに参加した体操日本代表選手団によるエキシビジョンやトークショーを行う。

<霞ヶ浦第3野球場>

- (4) 開場記念イベント 事業費 500千円
【実施予定日】令和2年5月16日(土)(※供用開始は5月29日)
【内容】①記念式典
②四日市市学童軟式野球大会

3. 予算額 15,693千円 (財源内訳) 一般財源 15,693千円

担当 スポーツ・国体推進部
国体推進課 大澤
TEL 354-8367

霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費（国体関係）

1. 目的

大規模な野球場を集約し、一体的な利用ができるよう霞ヶ浦緑地に霞ヶ浦第3野球場の整備を行う。また、弓道場を併設する四日市市総合体育館オープンに伴い、霞ヶ浦弓道場を閉鎖するため、その跡地に四日市テニスセンター（平成30年5月オープン）に隣接して多目的広場等を整備する。

2. 内容

- (1) 霞ヶ浦第3野球場整備工事（平成30年度～令和2年度）

事業費 201,764千円

- ・霞ヶ浦緑地に新たな野球場の整備を行う。（供用開始 5月29日）

- (2) 霞ヶ浦第3野球場整備工事監理業務委託（平成30年度～令和2年度）

事業費 2,236千円

- ・新たな野球場整備工事について、建築基準法に基づき建築士に設計図書との照合・確認を委託する。

- (3) 四日市テニスセンター多目的広場等整備工事（令和2年度～令和3年度）

事業費 35,000千円

- ・テニスセンター外構工事（霞ヶ浦弓道場解体、多目的広場及び駐車場の整備）を行う。

- 3. 予算額** 239,000千円（財源内訳） その他特財 201,000千円
（前年度 1,210,000千円） （都市基盤・公共施設等整備基金繰入金）

一般財源 38,000千円

4. 債務負担行為

- ・四日市テニスセンター多目的広場等整備事業費

限度額 20,000千円（総事業費） 55,000千円

期間 令和2年度から令和3年度まで

担当 スポーツ・国体推進部
国体推進課 大澤
Tel 354-8367

中央緑地運動施設整備事業費（国体関係）

1. 目的

令和3年の三重とこわか国体・三重とこわか大会に向け、中央緑地に四日市市総合体育館の整備を行う。

2. 内容

(1) 四日市市総合体育館建設工事（平成29年度～令和2年度）

事業費 1,331,150千円

- ・総合体育館の整備（サイン、外構、大型ディスプレイ）、中央体育館の解体、駐車場の整備、芝生広場の整備を行う。（供用開始 5月1日）

(2) 四日市市総合体育館建設工事監理業務委託（平成29年度～令和2年度）

事業費 11,550千円

- ・総合体育館建設工事について、建築基準法に基づき建築士に設計図書との照合・確認を委託する。

(3) 中央緑地整備費

- ・中央陸上競技場外構整備工事（令和元年度～令和2年度）

事業費 75,000千円

- ・中央緑地トリムコース整備工事（令和2年度～令和3年度）

事業費 48,000千円

- ・路線サイン整備工事設計業務委託（令和2年度）

事業費 5,300千円

3. 予算額

1,471,000千円（財源内訳）	国庫支出金(1/2)	600,000千円
（前年度 4,321,000千円）	市債	540,000千円
	その他特財	100,000千円
	（都市基盤・公共施設等整備基金繰入金）	
	一般財源	231,000千円

4. 債務負担行為

- ・中央緑地トリムコース整備事業費

限度額 77,316千円（総事業費） 125,316千円

期間 令和2年度から令和3年度まで

担当	スポーツ・国体推進部 国体推進課 大澤 TEL 354-8367
----	--

議 会 事 務 局

新年度予算における基本的な方針

令和2年度は四日市市議会基本条例が施行されて10年目となり、これまで行ってきた取り組みの一層の充実を図ることに加え、議会基本条例の基本方針である、市民との情報共有を図ること、市民参加を推進すること、議員間討議を活性化して政策立案・政策提言を行うこと、の三本柱に沿った議会改革をさらに推進する。議会事務局は、この改革の実現に向けてサポートを行う。

1. 議会改革の推進について

議会では議会基本条例の趣旨に基づき、市政の発展、市民生活・福祉の向上に寄与すべく議会改革を継続的に推進している。

令和元年定例会においては、常任委員会委員の任期を従来の1年から原則2年へと変更し、決算審査と予算審査の連動、及び、4常任委員会における長期テーマ設定による調査活動の深化を強く意識した会議運営を行う中で、政策立案・政策提言、議員間討議の活性化に向けた取り組みを行った。

特に8月定例会の決算審査においては、行政課題に対し議員間討議を通じて議論を深め、議会から次年度予算編成に向けた10項目の政策提言を行ったが、今後提言に対する執行部の対応状況等について予算審査を通じて検証を実施することとなっている。

令和2年度はこれまでの取り組みを検証しさらなる充実を図るとともに、引き続き議会改革を推進していく方針であり、議会事務局はこれに対しサポートを行う。

【主な事業】	会議録作製関係経費	10,158千円
	議事関係諸経費（参考人等）	336千円
	議員タブレット関係経費	4,751千円
	会議用システム関係経費	690千円

2. 市民への議会情報の提供及び議会への市民参加の取り組みについて

議会は、議会基本条例の基本方針の三本柱として掲げた「市民との情報共有」、「市民参加の推進」を図るため、議会活動について積極的に情報発信に努めている。

平成29年度には、広聴機能の充実として、市議会に関する市民アンケート、高校生アンケートを実施した。

平成30年度には、若い世代への情報発信と市民参加の推進を図るため、本市で初の実施となる、高校生を対象とした四日市市議会高校生議会を実施した。

令和元年度には、第2回目となる高校生議会を実施し、高校生議会当日に参加するのみならず、全体で行う事前勉強会や各高校の希望に応じて、高校へ出向いて行う勉強会を実施するなど、市議会への理解をより深めるための活動を精力的に行った。

さらに、市議会の情報発信手段の一つである市議会だよりのリニューアルに取り組み、令和2年度についても、これまで進めてきた取り組みをさらに充実させ、「市民との情報共有」、「市民参加の推進」を図る方針である。こうした取り組みを通して、市民に開かれた議会の実現のためのサポートを行う。

【主な事業】	市議会中継関係経費	12,883千円
	議会報等作製関係経費	13,257千円
	議会広報広聴活動経費	1,020千円
	インターネット配信関係経費	1,017千円

3. 議会の政策形成機能の充実について

議会は、議会基本条例の基本方針の三本柱の一つである「議員間討議の活性化」を進め、議員間討議により集約された意見から政策立案・政策提言を行い施策への反映を目指している。

令和元年度は議員政策研究会において、「議会BCP調査研究」「人も動物も安心して暮らせる四日市を考える」「国際交流」「未就学児教育・保育」の4つの分科会を設置し調査研究を行っている。

さらに、同志社大学大学院総合政策科学研究科教授、東京大学大学院教授を招き、議会改革に係る議員研修会を開催し、決算審議のポイントと予算への反映について見識を深めることに努めた。

令和2年度も引き続き、市民から信頼される議会づくりに向けて、議会事務局は、議会の政策形成機能を充実するための取り組みについてサポートを行う。

【主な事業】	政務活動費	28,560千円
	行政視察関係経費	9,809千円
	調査法制関係諸経費	2,000千円
	議員研修会関係経費	148千円

監 査 事 務 局

新年度予算における基本的な方針

内部統制体制の導入と監査の充実強化などを趣旨とする地方自治法の一部改正が行われ、監査については監査委員が定める「新たな監査基準」に基づき、監査等の対象に係るリスクを識別し、そのリスクの重要度に基づき効果的、効率的な監査を行うことが求められることとなった。

このような状況を受け、監査委員による監査や審査がこれまで以上に効果的に行われるように資料の作成や監査事務、会議録作成などについて、A I や R P A 等新技術の導入の検討、活用を図る。

併せて、事務局職員の専門的な知識・技能の向上など監査委員を補助する事務局機能の充実・強化を行う。

1. 財務監査及び行政監査、財政援助団体等の監査について

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を上げるようにし、予算の執行及び財産の管理などが適法、適正かつ効率的に行われているか監査する。

また、事務の執行が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を上げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか監査する。

財政援助団体等に関して、当該財政的援助に係る出納その他の事務の執行が当該財政的援助の目的に沿って監査が行われているか監査する。

2. その他の検査、審査について

例月現金出納検査、決算審査、基金運用状況審査、財政健全化審査・経営健全化審査等を実施する。

【主な事業】	監査事務一般経費	3, 5 3 4 千円
--------	----------	-------------